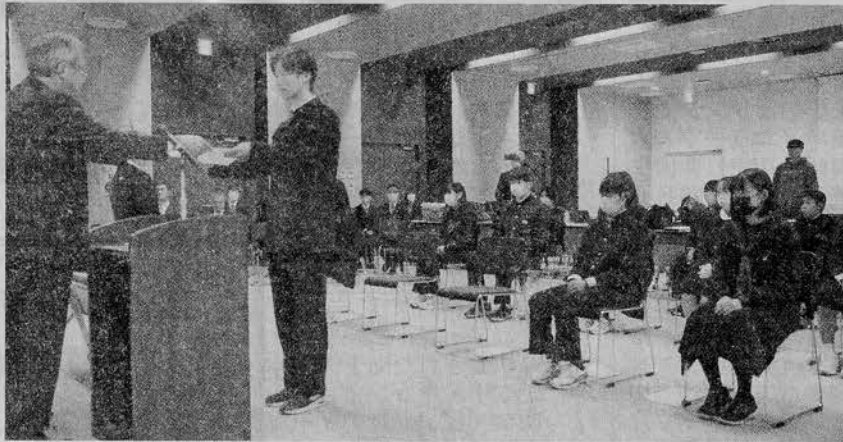


修了証を受け取った12期生



12期「耕人塾」閉塾式 中高生19人に修了証

石巻地方の中学・高校生が人間力を磨く令和5年度「耕人塾」(横江信一塾長)の閉塾式が16日、石巻市ささえあいセンターで開かれた。12期生19人が修了証書を受け取り、今年の感想をそれぞれに発表。塾生として過ごした時間や体験を成長の礎とする決意を述べた。

石巻地方の中学・高校生が人間力を磨く令和5年度「耕人塾」(横江信一塾長)の閉塾式が16日、石巻市ささえあいセンターで開かれた。12期生19人が修了証書を受け取り、今年の感想をそれぞれに発表。塾生として過ごした時間や体験を成長の礎とする決意を述べた。

本年度は石巻地方や仙台市の中学、高校に通う生徒が入塾し、「あいさつ、清掃、ごみ拾い+1」を軸に活動。8月の石巻川開き祭りなどで清掃・ごみ拾いを行ったほか、マイプロジェクトとして、茶道体験や講話を通じて地元への理解を深める探究活動も実施した。

閉塾式ではこのプロジェクトの発表会を行い、塾生が調べた限界集落、ごみ問題、部活動の地域移行、過疎化などについて提言。過疎化では「ないものを求めてもお金がかかる。川開き、ブルーインパルスなど今ある魅力を伝え、ターゲットに届く広報手段を選ぶこと」と主張した。

その後、修了証を受け取った生徒たちは、

磨いた人間力が成長の礎

「耕人塾2年目で、先輩も後輩も出来た。この経験を生かし、将来リーダー性のある人間になりたい」「マイプロジェクトで地域に貢献できた」などと振り返った。横江塾長は「今年度は新型コロナウイルスが5類

に移行され、野外炊飯も再開できた。今後自ら問いを持つ課題意識を高めてほしい。これからの活躍を期待している」と激励し、晴れやかな姿で集合写真撮影に臨んだ。

【横井康彦】